きれい創造新聞創刊号特別掲載

山本社長インタビュー

65周年にあたって

2013年を振り返って

きな労働災害が起きてしまいました。これはキレイの追求という点でも5Sの徹底が出来ていなかった事、安全対策の徹底が出来ていなかったために他なりません。これは猛省しなければならない。反省すべき点は自分たちの足下にあったと痛感しました。今一度安全について見直し、安全管理の追求をしなければならないという事を学ばせていただきました。

安全対策の徹底を

2013年は全国産業廃棄物連合会から優良事業所として表彰して頂いたことを初め、業界内での功績が認められました。6月にはホコリ対策にミストを設置し、8月からは外装工事に着工し、続いて内装も一新しました。災害支援など社外活動も活発に行い、充実していたと思います。これもひとえに皆様の尽力あってのものだと思います。しかし11月に大

この新聞に期待すること

まずは我々の仕事というのを内外に理解してもらうためのツールとなってほしい。また、今後は皆で制作し、コミュニケーションを取るために一役かうようなものとなってほしいと思います。

社員への希望

理想に向かって進む

楽で平坦な道では成長のチャンスは生まれません。辛い道を進んで初めて成長することができます。辛い時でも目標に向かって「前進あるのみ」。そういう意識を持って作業に当たっていただきたい。そして自分はヤマモトホールディングスの社員だという意識を持ち、もう一度社是である「お客様第一主義」に従い、お客様はもちろん他者に対する礼儀を持っていただきたいです。

社長の目標

会社を一つに

今回の労働災害をうけて、やっぱりお客様からも社員からも「安全のヤマモト」「安心のヤマモト」と呼ばれるような会社を作り上げることです。そのためには組織が一つとなることが重要。2014年には

改装され、よりキレイになった本社

社内のセキュリティが強化されました

2014年の抱負

先縁尊重

我々は親を始めいろいろな人に助けられ生きてきました。この縁というのは人間にとって一番大事なものだと思います。これを疎かにしてしまうとその人は発展できません。ヤマモトホールディングスの目標は縁なくしては達成できません。社員の皆さんにもこの「先縁尊重」というのを抱負としてこれから一年頑張っていただきたいと思います。

みんなの力で65年！100周年に向かって走ります!!

きれい創造新聞

1月1日 水 発刊
〒612-8244
京都市伏見区横大路
千両松町 196-1
TEL 075-623-5555(代)
FAX 075-623-5511
www.yamamoto-mrc.co.jp
◆発行：ヤマモトホールディングス

創刊0号

CONTENTS

1 山本社長インタビュー

2 社員紹介
私の新人時代
12月の社内行事
社員近況

3 作業インタビュー
新入社員紹介
社説
information コーナー

4 安全管理の重要性
もう一度確認！5Sの徹底
安全心得七箇条
無事故記録日数

安全徹底元年

安全管理の重要性

安全の基本とは

5Sの徹底・コミュニケーションの促進

まずは5Sの徹底。また、コミュニケーション不足から事故に繋がる事もある。そのため、これからはその促進も促していきたい。

安全への思い

安全に対する意識を強固にしていきたい

やはり社員にはそれぞれ家族や守るべきものを個々に持っている。自身のみならず、その方々達のためにも、それぞれが安全に対する意識を強く持ってもらい、真摯に向き合っていかねばならない。

これからの指針

基本動作の徹底を心がける

先に起きた労働災害を反省し、教訓とし、これから我々は5Sの徹底しかり、基本動作を徹底していく。

これからの会社の取組み

汚い所に神様は降りてこない

物や道具はあるべき所にきちんと片付ける。社内をきれいにする。物や場所は雑に扱うと正しい機能を果たしてくれないもの。常に清潔に保ち、大事に使用していく。

あるべき姿とは

ルール厳守の徹底

決めたルールに対しては必ず遂行する。安全が確保されていない状況で作業してはいけない。また危険を顧みず作業に臨むことは間違い。体調や機材に不備がある時は作業に臨んではならない。そんな時こそ仲間に相談し、コミュニケーションを取る。

安全の絶対条件

健康であること

自分自身が健康であること。気力体力ともに充実し、ハツラツとしている。落ち込み、陰鬱な状態ではミスも起きやすい。身体はもちろん、気持ちが健康であれば、他者への気配りができ、皆が快適に作業出来る。

安全の定義

ーヤマモトホールディングスは何を持って「安全」というのかー

全ての人が安心する

読んで字の如く、全ての人が安心して働ける。それがヤマモトホールディングスにとっての安全。これからは社内のみならず、社外からも「安心・安全のヤマモト」と認識していただけるように、さらにこの安心の輪を広げていきたい。

事故を未然に防ぐための心得七箇条

一．指差し確認を実践しよう
機材の操作やメンテナンスの時、例え電源が切れていても、指差し確認で安全確保をしましょう。

二．恥ずかしがらずに大声で確認
指差し確認とあわせて、声を出して安全チェック！

三．装備の乱れは心の乱れ
適当な着用のしかたをすることで、大きな事故に繋がることもあります。安全は適切な装備からです。

四．急がば回れ！余裕をもって作業しよう
急いでいる時こそ遠回りでも安全な方法や通路の利用をしましょう。そのためには常に心にも時間にも余裕を持ちましょう。

五．機材を清潔に保て！
汚いところには神様は降りてきません。清潔な機材で気持ちも清潔に。

六．コミュニケーションをとれ！
ホウレンソウ（報告、連絡、相談）をきっちりしましょう。

七．ルールを守れ！
決められたルールには必ず従いましょう。身を守るためにルールが存在します。

5Sの取組

安全の基本はやっぱり5S。もう一度しっかり5Sを見直しましょう

整理
いらないものを捨てる

整頓
決められた物を決められた場所に置き、いつでも取り出せる状態にしておく

清掃
常に掃除をして、職場を清潔に保つ

清潔
3S（上の整理・整頓・清掃）を維持する

躾
決められたルール・手順を正しく守る習慣をつける

無事故記録日数

平成26年1月1日から始まります。
ずっと記録更新出来るように頑張りましょう！

0 0 0 日です。

今月も安全第一で頑張りましょう。

部署をこえてつながる 社員紹介

①部署名・名前
②入社して何年目
③休日の過ごし方
④仕事を通して学んだ（感動）こと
⑤仕事でのこだわり
⑥山本清掃の魅力とは！

お客様第一主義!!

①ハートメディカル事業部
今川 正彦
②5年目
③音楽鑑賞
④お客様に感謝された時
⑤お客様に対応する際笑顔で接する
⑥チームワーク

日本一の会社 熱い営業部を作る！

⑪環境マーケティング部
藤井 正人
②7年
③サイクリング
④仲間（同僚）との出逢い
⑤規律
⑥何にでもチャレンジできる

奇数月企画

私の新人時代

入社当時の苦労・不安・喜びを振り返る

お名前と部署名
環境マーケティング部　永野 浩行
入社したのはいつ頃ですか？
2010年12月1日
入社当時苦労されたことは何ですか？
今まで経験したことのない業種のため専門用語などの言葉を理解するのに苦労しました。
新人時代のミスは何ですか？
不用品回収等の見積り時に立米を少なく見積ってしまい、トラックの手配を間違えたこと。

会社は色々な人がいるから面白い!!

新人時代に先輩からどんなアドバイスをもらいましたか？
色々な人がいるから面白い!!
当時と今で変化したことはありますか？
人の繋がりが増えました。
仕事に対するこれからの熱い想いを一言！
何事もチャレンジ!!
永野さん、これからもドンドン挑戦していってください！

お名前と部署名
管理部　日下部 由紀
入社したのはいつ頃ですか？
10年前
入社当時苦労されたことは何ですか？
廃棄物の知識が何もなく、電話対応が1人でこなせず都度都度電話を保留にして、相手を待たせる事が多かった。
新人時代のミスは何ですか？
詳細な連絡先を聞かず、どの顧客からの電話だったか分からなくなった事。

あらゆるニーズに絶好のタイミングで応える

新人時代に先輩からどんなアドバイスをもらいましたか？
人は十人十色。様々な顧客がいるので、柔軟に対応する。
当時と今で変化したことはありますか？
内勤、営業、内勤と移動した事によって、他部署であったり顧客の現状を知る事が出来、全体の流れがおおよそ想像できるので、イレギュラーな事態の時焦らなくなったと思う。
仕事に対するこれからの熱い想いを一言！
社内 社外をとわず
求められるニーズに絶好のタイミングで応える。
日下部さんの強い向上心がうかがえます。これからもよろしくお願いします！

12月の社内行事

京都市立 西支援学校の皆さんが見学に来られました。

エコキャップと「みんなの着もちプロジェクト」古着を持参して、山本清掃とエム・アール・シーに見学に来られました！

皆、熱心に話を聴いてくれました。我々もまた、手本になるべく頑張りましょう！

「京都マラソン2014」が2月に開催！

廃棄物処理業界も、参加選手、ボランティア大会関係者を応援しております。
たくさんの方が京都に来てマラソンをするこのイベント。
みんなで全力で応援しましょう！

1月のお誕生日

1日	MRC	西川 滋さん	(52)	
1日	環境エンジニアリング部	栗原 照實さん	(67)	
4日	環境ロジスティック部	鈴木 皓一朗さん	(30)	
6日	京丹波ウエス事業部	河瀬 正良さん	(33)	
8日	ハートメディカル事業部	朝子 愛夫さん	(68)	
8日	環境ロジスティック部	勝平 倫一さん	(43)	
11日	管理部	安田 衣余さん	(31)	
11日	MRC	髙居 功一さん	(37)	
12日	環境マーケティング部	藤井 正人さん	(42)	
15日	ハートメディカル事業部	山西 誠さん	(25)	
20日	環境ロジスティック部	伊地智 拓さん	(30)	
26日	環境システム部	渋谷 慶太さん	(33)	
29日	環境エンジニアリング部	沢田 恒輔さん	(66)	
29日	MRC	安達 忠次さん		

おめでとうございます

作業インタビュー

環境エンジニアリング部
産業廃棄物処理課
東 大久

常に120%の仕事を全員がしています

現在の仕事の内容を教えて下さい
わかりやすく言うとゴミの分別です。ただし本当のゴミにしてしまうのか、資源として再生させるのか、それが僕たちの仕事にかかっています。そんな大事な仕事だから誰も手を抜かないし、全員がいつも全力で作業をしています。
やりがいを感じるときは？
日光を浴びて体を使う仕事なので、汗をかく充実感っていうのはありますね。あと、仕事をした分だけ資源を守るということ、そして有価物と呼ばれる値段のつく資源（分別）の目標を達成した時にはやっぱり喜びがありますね。

今月号の新入社員紹介

①部署名・名前　④仕事でこだわりたいこと
②好きなスポーツ　⑤先輩社員や会社に一言
③休日の過ごし方

①環境マーケティング部
西山 昌利
②バドミントン、野球
③ねてるか彼女とデート
④お客様第一主義
⑤まだまだ半人前ですが宜しくお願い致します。

社説 ――すべての先縁を大事にしたい――

先縁とは…「人生で大事なものは何か」たくさんの人たちの答えを一語に集約すると、「先縁尊重（せんえんそんちょう）」という言葉に表現できると思います。
原点の人を忘れないで大事にするということです。
例えばAさんからBさんを紹介され、Bさんと大変親しくなり、Aさんを忘れてしまう。
挙げ句は無視したり、不義理をする。
そういう原点の人を大事にしない人は運命から見放されてしまう、ということです。
先縁の原点は親です。
親がいなければ、私たちは誰一人この世に存在していません。
その親を大事にしない人は、やはり運命が発展していきません。親は、いわば根っこですね。根っこに水をやらなければ、あらゆる植物は枯れてしまいます。
「父母の恩の有無厚薄を問わない。父母即恩である」と西晋一郎先生はいっています。
この覚悟のもとに立つ時、人生に真の主体が立つのだと思います。
そして、その親の恩をさらにさかのぼってゆくと、国というものに行きつきます。
この国のあることによって、私たち祖先はその生命を維持継承してきたのです。即ち、国恩です。
国恩あることによって、私たちはいまここに、生きています。
最近はこの“国の恩”ということを意識する人が少なくなりました。
いま日本に確たるものがなく、漂流しているがごとき感があることと、国恩という言葉も意識も薄れていることとは無縁ではないと思います。
どんな事象にも根っこはある。
それが「先縁」という最初に結んだ縁。
歌にもあるように、「義理が廃（すた）ればこの世は闇」だ。
人の縁、親の縁、国の縁…すべての「先縁」を大事にしたい。

インフォメーションコーナー

健康管理をしっかりしましょう！

やってますか？予防策☑

手洗い・うがいの徹底■マスク着用■しっかり睡眠■

今年もインフルエンザが流行すると思われます。しっかり予防しましょう。

（インフルエンザにかかるとエラい目にあいますよ！）

by二年前感染してエラい目にあった銭本 護さん

食べ過ぎ、飲み過ぎに注意しましょう

緩みがちな年末年始の生活習慣…油断は禁物!!

自然災害、人的災害…現代では何が起こっても不思議ではありません。あらゆる事態に備えて我が社では（意外と知られていませんが）**衛生電話**を設置しています。

社員証、クレドカードは携帯していますか？

大事なことが要約されています。いつでも取り出せるように、しっかり携帯しましょう。

1月の予定・行事

January

6日（月）■初出式　皆さん、遅刻せずに元気に出社しましょう！
14日（火）■労働安全衛生委員会　前月を振り返りヒヤリ・ハッとの芽を摘みましょう！
14日（火）■役員幹部会議　皆さんの日頃の仕事ぶりを報告しあいます。
26日（日）■京都府トラック協会健康診断（有料）　皆さん出来る限り受けましょう！

年末年始の休業日は

12月29日(日)～1月5日(日)です。
1月6日(月)は初出式。
皆さん元気に出社してくださいね。

編集後記

今回から発行する社内報「きれい創造新聞」…これまでの社長通信にかわり、皆さんへお伝えしたい事や会社での出来事を知って頂くために山本清掃グループ全体の“新聞”として毎月末発行していきます。皆さんにも是非、積極的に編集にご参加頂きたいと思います。皆さんのご協力でより良い社内報に育てていきましょう！